

妻への想いが夫の育児・家事参加につながる！？ 育児・家事へ参加する要因 1位「妻に楽をさせてあげたい」

「輝く女性」というワードが注目されたように、女性の活躍促進が話題となった2014年。女性の活躍を促進する策の一つとされる「男性の育児、家事への参加」に着目し、リクナビNEXT編集部では、共働きで小学生以下の子どもを育てる男性ビジネスパーソン1000名にアンケートを実施。アンケート結果から、育児・家事に参加する男性と参加しない男性で、妻との関係性に違いがあるかを調べてみた。

2014年12月17日

(調査概要)

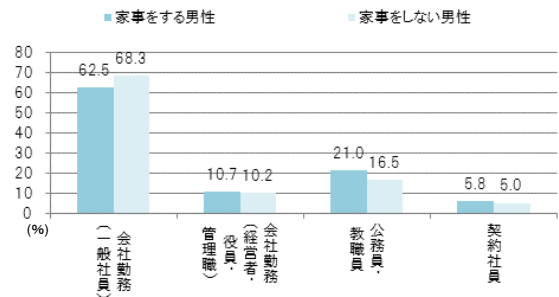
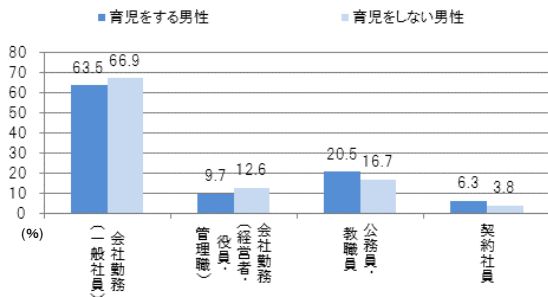
調査方法:「リクナビNEXT 男性の育児、家事に関する調査」インターネット上で実施
実施期間:2014年10月29日～10月30日
調査対象:男性ビジネスパーソン 1,000名(20～40代、既婚、共働き、小学生以下の子ども有)

「妻の仕事内容を具体的に理解している」育児をする男性79.2%に対し、育児をしない男性59.1%

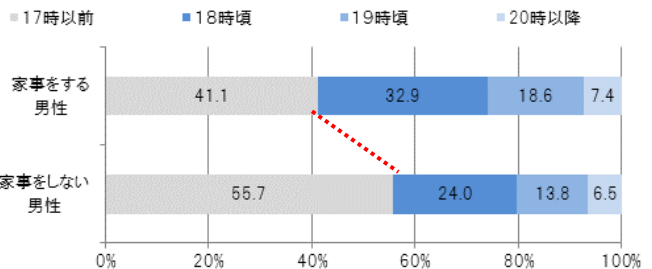
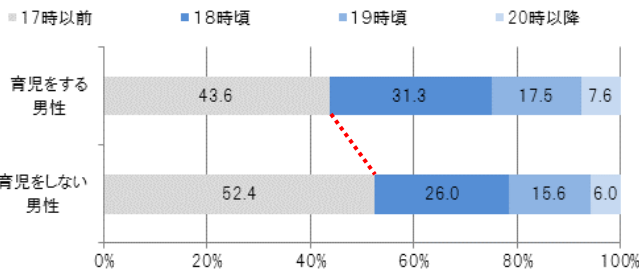
育児、家事それぞれについて、「普段、育児・家事をどの程度するか」という問いに「よくする」「たまにする」と回答した人を「育児・家事をする男性」、「あまりしない」「ほとんどしない」と回答した人を「育児・家事をしない男性」と分け、まずは、妻の仕事について聞いた。育児・家事をする男性、しない男性どちらも、妻の職業は約6割が一般会社勤務となった。一方、妻の帰宅時間が18時以降と回答した割合は育児・家事をする男性の方が約10%多く、妻の年収も高い傾向が見られた。

また、「妻の仕事内容を具体的に理解しているか」と聞いたところ、育児・家事をしている男性の方が約8割「理解している」と回答したのに対し、しない男性は約6割にとどまる結果となった。

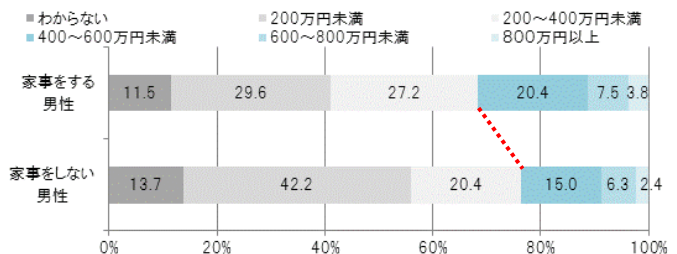
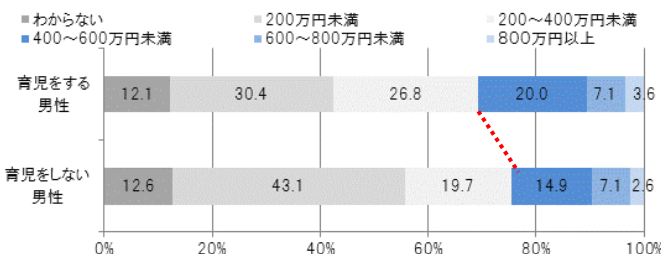
■妻の職業



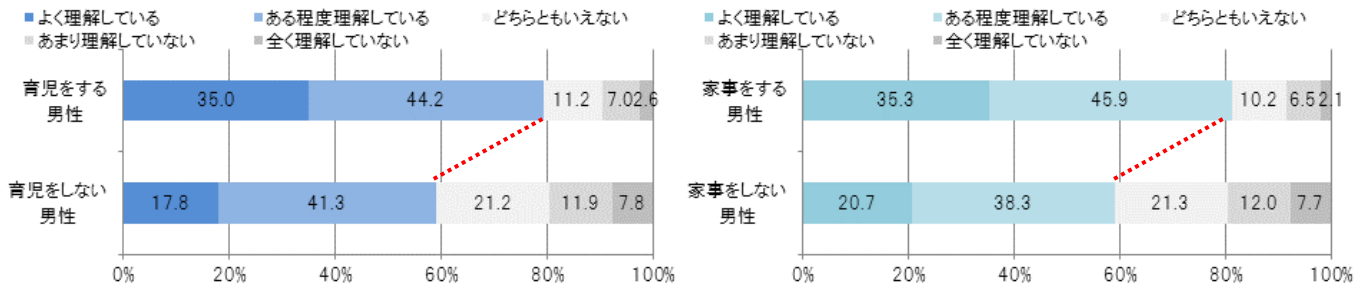
■妻の帰宅時間



■妻の年収



■妻の仕事内容を具体的に理解しているか



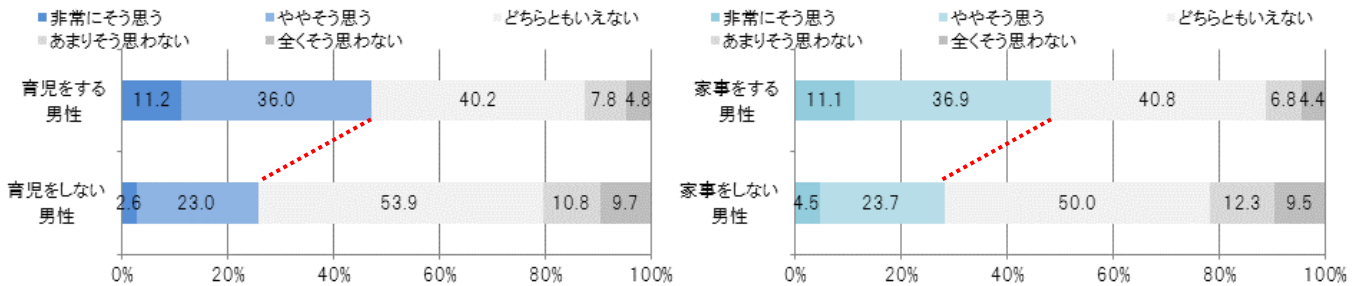
「夫婦仲は良好」 育兒をする男性47.2%に対し、育兒をしない男性25.6%

次に夫婦仲や関係性についてたずねたところ、「夫婦仲は良好か」という質問に対し、「非常にそう思う」「ややそう思う」という回答が、育兒をする男性は47.2%に対し、しない男性は25.6%であった。家事をする男性としない男性を比較した結果でも、する男性48.0%に対し、しない男性は28.2%と、育兒・家事どちらも約20%もの差が見られた。

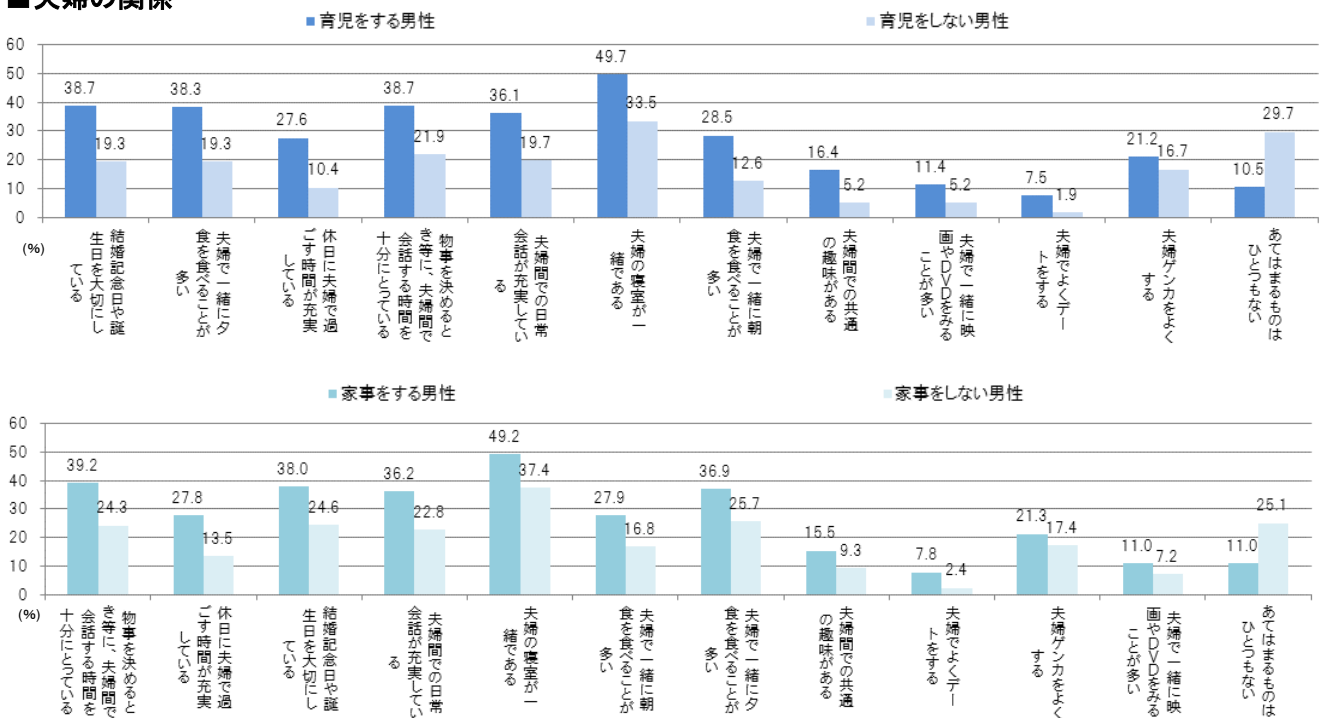
具体的に夫婦の関係についてたずねると、育兒をする男性としない男性では「結婚記念日や誕生日を大切にしている」(する男性38.7%、しない男性19.3%)が約20%と最も大きい差になった。続いて「夫婦で一緒に夕食を食べることが多い」(する男性38.3%、しない男性19.3%)、「休日に夫婦で過ごす時間が充実している」(する男性27.6%、しない男性10.4%)と、15%以上の差が見られた。

家事をする男性としない男性でも「物事を決めるとき等に、夫婦間で会話する時間を十分にとっている」(する男性39.2%、しない男性24.3%)など、育兒・家事をしている男性の方が夫婦間のコミュニケーションが取れている傾向が明らかとなった。

■夫婦仲は良好か



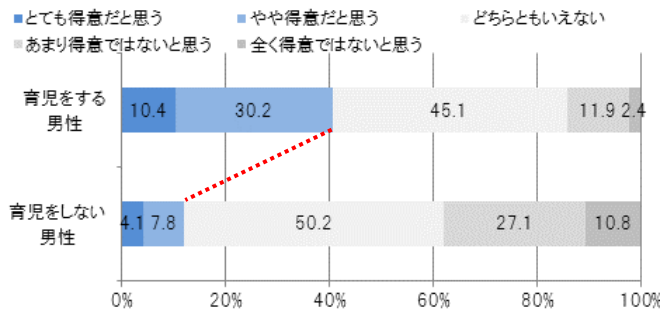
■夫婦の関係



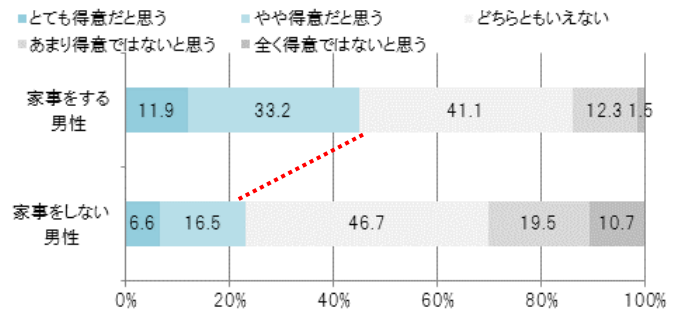
「妻は育児が得意」 育児をする男性40.6%に対し、育児をしない男性11.9% 育児・家事へ参加する要因 1位「妻に楽をさせてあげたい」

続いて、妻は育児・家事が得意かをたずねたところ、育児・家事をする男性の方が「得意」と回答する人が多く、意外な結果となった。また、育児・家事をする要因をたずねたところ、育児・家事をする男性のどちらも回答の1位は「妻に楽をさせてあげたい」に。さらに、「夫婦円満のため」という回答が育児をする人は3位、家事をする人では2位となり、男性は妻が苦手なためという消極的理由や、自分が育児・家事が好きという自身のためよりも、妻への気遣いから育児・家事に参加しているようだ。

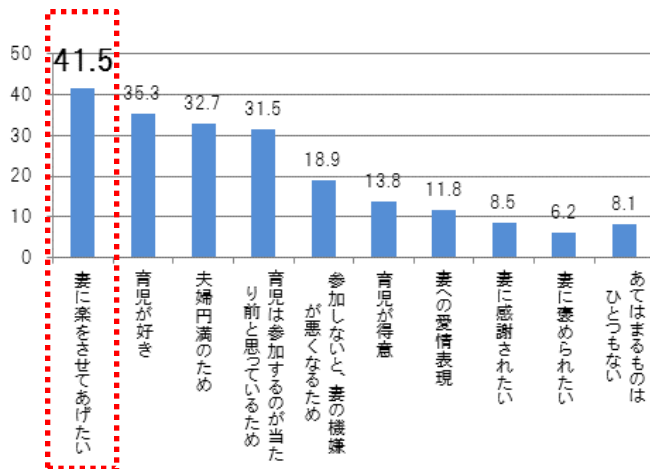
■妻は育児が得意だと思うか



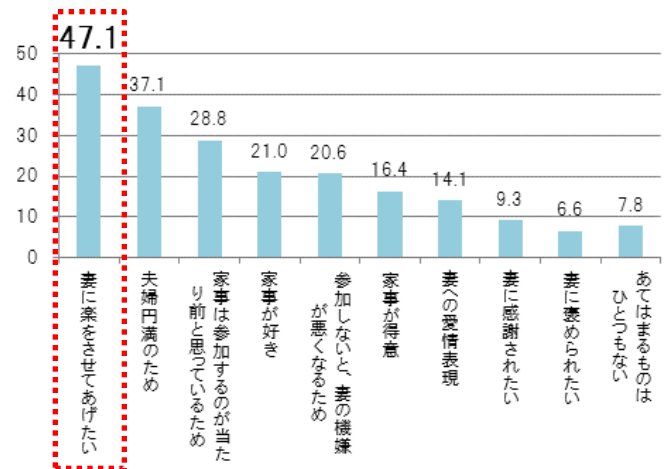
■妻は家事が得意だと思うか



■「育児」に参加する要因(育児をする男性のみ回答)



■「家事」に参加する要因(家事をする男性のみ回答)



育児・家事をする男性は「妻の仕事内容を具体的に理解している」「夫婦仲は良好」「妻を楽にさせてあげたいため育児・家事に参加」など、妻とコミュニケーションを取り、妻の仕事や状況を理解していることが分かった。

旦那さんに家事・育児にもっと参加して欲しい、と考える女性は、「育児・家事をしてほしい」と要望を伝えるだけでなく、まずは今よりも夫婦間のコミュニケーションを増やし、自身の仕事の内容や状況を理解してもらうことを始めてみてはどうだろう。男性側も奥さんとの関係は良くありたい、と考えているはずだ。夫婦間のコミュニケーションを活発にすることで、旦那さんが奥さんの状況の理解を深め、本アンケートの育児・家事をする男性のように「妻に楽をさせてあげたい」と、育児・家事に積極的になるきっかけになるかもしれない。